

社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

令和4年度事業計画書

令和4年度事業方針

2年以上にわたるコロナ禍で見えてきたのは、人と人とのつながりが分断され、社会的孤立を深める人、経済的困窮に陥る人の増加、また、地域活動の担い手の高齢化と継承者の不足。

一口に困窮者支援と言っても、その内容、必要度合いは様々で、複雑に絡み合っている場合が多くなっています。さらに、支援を必要とする人が、ますます見えにくく、制度につながりにくくなっています。

このような中では、新たなつながりを作ること、つながり直しが重要になってきます。兵庫県社会福祉協議会でも、基本目標に「つながりで笑顔輝く共生のまちづくり」を掲げて、取り組みを進めています。

稲美町社会福祉協議会におきましても、これまでの各方面とのつながりを維持強化すると同時に、これまでなかなか連携の取れていなかった関係者とも、新たにつながりをつくり、地域の皆様がより安心して暮らしていけるように取り組んでまいります。

そのために、継続新規を含めて下記の事業を展開してまいります。

事業方針に基づき今年度実施する主な事業は以下の通りです。ただし、新型コロナウイルスの関係で、中止や形を変えての実施になる可能性もあります。

つ な ぐ	居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン、オープンカフェ ・視覚障害者交流事業、耳の日のつどい、わくわくスポーツ大会 ・ラジオ体操の輪（和）プロジェクトの継続
	ボランティア コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性と想いを尊重したボランティアコーディネート ・自宅でもできるボランティア活動の開発（新規事業） ・シニア層の活躍の場の開拓 ・介護ボランティアポイント事業
	善意銀行の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・寄せられた善意を生活困難者や地域へ還元
	組織化	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者の会運営支援（さくら草の会・ほっとファミリー） ・どんまい！！れんげ草ママの会（学齢期の障害児を持つ保護者の会）運営支援 ・生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどいの運営支援 ・社会福祉法人連絡協議会の設立（新規事業）
	婚 活	<ul style="list-style-type: none"> ・金のわらじ等への活動支援
	会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会、理事会、福祉委員役員会、福祉委員会総会 ・ボランティア連絡会、生活支援等体制整備に係る協議会 ・地域福祉推進計画策定に係る会議 ・ZOOMの活用による新たなつながりづくりの検討（新規事業）
つ た え る	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の発行、チラシの発行、 ・ホームページの運営、フェイスブック ・タブレットを活用した効率的・効果的な運用 ・YouTube、LINEの活用検討 ・様々なグループの活動情報紹介、助成金情報発信 ・認知症サポーター養成講座 ・外出自粛に伴うフレイル予防の工夫等を情報提供 ・ZOOMの活用による新たなつながりづくりの検討（再掲）
	啓発講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大福祉講演会（事務局福祉講演会とボランティア連絡会合同）（新規事業） ・耳の日のつどい
	講 座	<ul style="list-style-type: none"> ・要約筆記講座、手話（入門・中級）講座 ・傾聴ボランティア養成講座、おたがいさんサポーター養成講座 ・夏休みボランティアスクール ・防災ボランティア養成講座（新規事業）

	研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員交流研修、自治会長・福祉委員合同研修 ・理事研修、ボランティア研修
	福祉教育	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育推進事業（小中学校等への助成） ・福祉教育出前講座、福祉委員を窓口とした福祉懇談会 ・インスタントシニア体験具、アイマスク・点字版等の貸出 ・トライやるウィーク協力 ・実習生の受入
さ さ え る	介護保険サービス 障害福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所こぶし（介護相談・認知症相談も実施） ・訪問介護事業所スマイル173 ・いなみ訪問看護ステーション ・療養通所介護事業所ひだまり畑 ・小規模多機能ホームひなたんぼ ・計画相談支援事業 ・新型コロナウイルス感染対策を含めた事業継続計画の検討継続
	見守り・安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業（日常の金銭管理、福祉サービス利用援助） ・給食の調理、宅配 ・傾聴ボランティアによる訪問・電話傾聴・お手紙傾聴
	在宅生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの法律相談（司法書士相談、弁護士相談） ・総合相談アドバイザーの設置 ・車イス、歩行器等の無料貸出 ・朗読テープの送付（広報等の音訳） ・おたがいさんサポーターの訪問、買い物支援 ・お買い物ツアー ・布団洗濯サービス ・外出困難者出入金代行事業 ・歳末たすけあい配分事業 ・基幹相談支援センターによる相談支援 ・オンライン相談の実施
	経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金の貸付 ・緊急生活支援事業（善意銀行、歳末たすけあい募金） ・食糧支援

		<ul style="list-style-type: none"> ・活動相談、支援 ・ボランティア保険、行事保険、災害ボランティア保険の受付 ・活動費の助成 ・ニュースポーツ等の貸出 ・印刷機の貸出（自治会等） ・マイクロバスの運行管理 ・助成金情報の発信 ・ボランティア連絡会の運営支援 	
まなび	アウトリーチ	・町内の社会資源の把握、地域の把握、様々なサービスの需給調整	
	研修・勉強会	・様々な機会を捉えて計画的に研修、情報の共有	
他 機 関 連 携	会 議 出 席	町関係	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議、その他の高齢者関係会議、相談担当者連絡会 ・障害者福祉推進協議会、地域自立支援協議会 ・健康づくり、子育て支援等各種会議 ・避難行動要支援者支援連絡会、防災訓練 ・地域公共交通会議その他の町主催会議 ・民生委員児童委員協議会定例会
		県社協関係	<ul style="list-style-type: none"> ・会長会議、事務局長会議、各専門分野別会議 ・東播磨ブロック会長として、稲美町社会福祉協議会会長が、兵庫県社会福祉協議会の理事に就任し、各種会議に出席
		東播磨ブロック	・令和3年度と令和4年度の2カ年、東播磨ブロックの幹事社協として8市3町の取りまとめ
		共同募金関係	・事務局長会議、職員会議
		県民局関係	<ul style="list-style-type: none"> ・東播磨圏域健康福祉推進協議会、東播臨海精神保健協会 ・こころのネットワーク会議など
		医師会関係	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川認知症連携協議会、 ・加古川地域在宅医療推進協議会
		大学関係	・実習懇談会
	参 加	社協関係	・社会福祉大会
		保護司会	・社会を明るくする運動
		県民局	<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな美しい東播磨を目指す実践推進大会 ・健康ひょうご21県民運動東播磨会議

新規事業	災害ボランティアセンター	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に改訂したマニュアルに基づき、運営訓練の実施 防災ボランティアの養成
	拡大福祉講演会	<ul style="list-style-type: none"> 従来の福祉講演会とボランティア連絡会啓発講演会の合同実施
	地域福祉推進計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度を初年度とする地域福祉推進計画の策定
	稲美町社会福祉法人連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 稲美町社会福祉法人連絡協議会の設立

令和4年度 稲美町社会福祉協議会事業一覧

NO.	主な対象者	事業名 (財源)	事業の概要	予算額
1	子育て世代	子育てひろばの支援 (福祉会費)	子育てひろばグループが印刷される際に、印刷機を無料でお貸しします。	10千円
2		夏休みボランティアスクール (共同募金)	夏休みに小学生～一般の方を対象としたボランティアグループの活動体験を行います。	65千円
3		福祉教育指定校事業 (共同募金)	福祉への理解と関心を高め、子どもたちの思いやりの心を育てていくための学習を行う事業です。職員による出前講座や福祉用具の貸し出しもを行います。毎年、町内の小中学校(全校)、保育園幼稚園(1園)に助成します。	1,150千円
4		ひとり親家庭入学祝い (共同募金)	小学校新1年生がおられるひとり親家庭へ入学祝い金をお渡しします。	60千円
5		町内保育所への助成 (歳末たすけあい募金)	町内の保育園全園に地域との交流のための助成金を交付します。	300千円
6		トライやるウィークへの協力	2つの中学校の希望者を受け入れ、様々な活動体験の場を提供します。	-
7		講演会、講座での託児	社協主催講演会・講座をはじめ、町主催の行事において、依頼があれば託児をします。	-
8	住民全般	講演会、研修会の開催 (福祉会費)	様々な課題に対応して、啓発活動を行います。	70千円
9		運転ボランティア養成講座 (福祉会費)	既に活動中のボランティアさんの協力を得て実施。また、自動車学校に依頼してフォローアップ研修も実施します。	37千円
10		福祉委員活動事業 (福祉会費)	地域と社会福祉協議会をつなぐパイプ役として研修会などを通じて福祉について学び、活動していただきます。	388千円
11		オープンかふえ (福祉会費)	いろいろな人の居場所として、各人の得意なことを発揮していただきます。	56千円
12		暮らしの法律相談 (福祉会費・町補助金)	「暮らしの法律相談」の総称のもと、「司法書士相談」「弁護士相談」を実施し、専門職が住民の法律相談に応じます。	366千円
13		総合相談アドバイザー設置 (福祉会費・町補助金)	日常的に法的相談を受けられるよう職員の資質向上のため、総合相談アドバイザー(司法書士)の設置を行います。	60千円
14		社協情報発信 (共同募金)	ホームページやチラシ、広報紙、Facebook、YouTube等で福祉情報の提供を行います。	1,047千円
15		ボランティア養成講座の開催 (共同募金)	ボランティア活動への初めの一歩として各種入門講座を開催します。	36千円
16		モデル地区指定事業 (共同募金)	福祉ネットワークを全自治会に拡げていくための第1段階として、モデル地区指定を行います。その地区の課題を共に考えながら活動を具体化していきます。	150千円
17		お買い物ツアー (共同募金)	買い物困難者を対象に買い物支援を行います。その際、ボランティアが同行します。	3千円
18		福祉用具の貸出 (共同募金・善意銀行)	介護保険を利用できない方を優先に、車いす・歩行器などの介護機器を無料貸出。自治会や学校での福祉体験するための各種体験グッズを貸出します。インスタントシニア体験具や、アイマスク、白杖、視覚障害体験ゴーグルなどがあります。	160千円
19		ボランティア活動への助成 (共同募金・町補助金)	ボランティア活動を支援するため、稲美町ボランティア連絡会所属の各グループ・団体に助成金を交付します。	1,620千円
20		地域でお困りの方や団体の応援 (歳末たすけあい募金)	年末に地域で支援を必要とされている方へ助成を行います。	630千円
21		緊急生活支援事業 (歳末たすけあい募金・善意銀行)	緊急で食糧や資金を必要とする方へ、柔軟に支援します。	245千円
22		災害見舞金 (歳末たすけあい募金・善意銀行)	火災等で被災された方の生活を支援するため助成します。	60千円

NO.	主な対象者	事業名（財源）	事業の概要	予算額
23	住民全般	生活支援等体制整備事業 （町受託金）	地域の福祉ニーズや資源の状況把握、不足するサービス・支援の創出、ボランティア等担い手の発掘・養成、地域住民に対する活動の普及啓発などを実施し、住民の生活支援の基盤整備を推進します。	4,078千円
24		生活福祉資金の貸付 （県社協受託金）	他制度の利用が困難な低所得者世帯や障害者・高齢者世帯の一時的な経済的ニーズに対応し、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に金銭の貸し付けをします。（貸付決定には県社協の審査が有ります。）	360千円
25		認知症相談窓口	身近な人の異変に気が付いたとき、どうしてよいかわからないとき、対応の仕方などについて相談に応じます。	-
26		ボランティア相談	ボランティアに関するさまざまな相談に応じます。	-
27		福祉懇談会	懇談会のメニューを提示し、自治会のニーズに合わせてテーマを選択していただきます。	-
28		各種道具の貸出	自治会における交流会などに、ニュースポーツ器具などを貸出します。	-
29		認知症サポーター養成講座の開催	自治会やグループの要請に応じて出前講座を実施します。	-
30		高齢者、 障がいのある 方やその家族	生きづらさをかかえる成人をもつ親 のつどい運営支援 （福祉会費）	発達障害等により社会になじめない成人をもつ親が悩みや情報を共有できるつどいを運営支援します。
31	介護者の会の開催 （福祉会費）		介護をされている方のリフレッシュを目的に、情報交換、悩みの共有、勉強会などを行っています。さくら草の会とほっとファミリーの2グループが活動しています。	40千円
32	給食サービス （福祉会費・町補助金）		高齢独居世帯やハンディのある方を対象に、栄養士が考えボランティアが調理したお弁当を、民生委員や配送ボランティアが見守りを兼ねてご自宅までお届けします（7・8月を除く毎週水曜日）。	736千円
33	障害者団体への助成 （共同募金）		障害者団体の活動を支援するため、助成金を交付します。	300千円
34	聴覚・視覚障がい者交流事業 （共同募金）		住民の方が耳や目のハンディに関心・理解を持つことまた、当事者の社会参加支援を目的に、耳の日のつどい、レクリエーション、バス旅行などの交流会を実施します。	75千円
35	障がい児をもつ親の会の活動支援 （共同募金）		ハンディを持つ子どもの親が集まり、想いの共有や勉強会等を行います。 どんまい！！れんげ草ママの会（月に1回会合開催）	50千円
36	地域生活支援事業 おたがいさん （共同募金）		くらしの中のちょっとした困りごとを、有償サポーターとともに解決します。	50千円
37	朗読・点字広報の発行 （共同募金・町補助金）		視覚にハンディを持つ方へ、ボランティアグループが作成した社協広報紙「社協だより」や町広報紙「広報いなみ」などを点訳、朗読録音してご自宅へ送付します。カセットテープだけではなく、CDも提供可能です。	10千円
38	手話教室 （共同募金・町補助金）		手話入門・中級教室を開催します。	448千円
39	特別支援学校修学旅行助成 （歳末たすけあい募金）		特別支援学級生、特別支援学校生の修学旅行に一部助成します。	200千円
40	要約筆記講座 （町補助金）		耳にハンディを持つ方に文字で情報をお伝えする要約筆記の初級講座を毎年開催します。	51千円
41	外出支援サービス （町受託金）		いきいきサロンや町主催のいきいきセミナーなどへ参加する場合にご自身では外出が困難であり、ご家族が送迎できない方を運転ボランティアが自宅と会場間を送迎します。	719千円
42	いきいきサロン （町受託金）		おおむね65才以上の方を対象とし、介護予防（転倒・認知症予防）や閉じこもり防止、仲間づくり等を目的とした場です。平成12年に開始し、現在55サロンが開催されています。各会場、年に1回、体力測定を実施しています。	7,953千円
43	介護ボランティアポイント事業 （町受託金）		高齢者が行う介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、高齢者の地域貢献や社会参加を促進し、自身の介護予防や地域の介護予防を推進します。	1,589千円
44	日常生活自立支援事業 （県社協受託金）		ご自宅やグループホーム、ケアハウスなどで生活する方で判断能力に不安のある方がご利用いただけるサービスです。日常の金銭管理や、送付書類の確認などをご本人の意思に基づき、生活支援員がサポートします。	678千円

NO.	主な対象者	事業名（財源）	事業の概要	予算額
45	高齢者、 障がいのある 方やその家族	外出困難者出入金代行事業	外出の困難さから金融機関での出入金にお困りの方と金融機関との調整を行います。必要に応じて代行での出入金も行います。	—
46		認知症高齢者等SOSネットワーク事業への協力	稲美町が実施する標記の事業において、行方不明者の早期発見等のために、情報共有等、協力します。	—
47		障がい者基幹相談支援センター（町受託金）	障がいのある方やご家族が地域で安心して生活が送れるよう、社会福祉士などの専門の相談員が、相談支援や関係機関とのネットワーク構築などに取り組んでいます。また新たに、保健師等の資格を有する相談員を配置するとともに、町の障がい者なんでも相談が終了することから、運営にかかる技術顧問契約により相談機能の充実を図ります。	17,469千円
48	介護等が 必要な方	居宅介護支援事業所こぶし	ケアマネジャーの事業所です。自立支援・重度化予防に向けたケアプランを作成します。医療と介護の連携を図り安心して生活できるよう支援します。また、介護や認知症に関するさまざまな相談もお受けしています。	21,291千円
49		いなみ訪問看護ステーション	看護師がご自宅へ伺い、医師の指示による医療処置や在宅での看取り、必要に応じたご家族のサポート、療養上の支援等を行います。また理学療法士や作業療法士によるリハビリも実施します。訪問リハビリの導入にあたっては、希望により無料体験実施させていただきます。	58,671千円
50		療養通所介護事業所ひだまり畑	看護師主体で通所介護を行います。医療処置などが必要なために一般の通所施設には通い難い方や重症心身障がい者（児）をお受けしています。1日に5名までのとても小規模な事業所のため、お一人お一人にきめ細やかに関わります。	13,610千円
51		訪問介護事業所スマイルイ ^う 73	介護福祉士やヘルパーがご自宅へ伺い、高齢の方やハンディがある方の身体介護や生活援助サービスを提供します。ガイドヘルプや同行援護も実施します。町からの委託で寝具洗濯の取次ぎをしています。対象は住民税非課税の方です。	27,315千円
52		指定特定相談支援事業所	サービス等利用計画の作成、定期的なモニタリング、支援会議の開催等を通じて、障がいのある方が自立した日常生活、より良い地域生活・社会生活をおくることができるよう、一緒に考え、必要に応じて適切な支援を提供していきます。	197千円
53		ひなたんぼ小規模多機能ホーム	通いを中心に訪問、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ提供します。住み慣れた地域や自宅で暮らし続けたいという思いを応援します。（登録制25名、通い1日15名、宿泊1日5名）小規模ならではの家庭的な雰囲気の中で過ごしていただきます。	50,561千円
54	今年度新規に 取組む事業	災害ボランティアセンター（福祉会費）	災害ボランティアセンターマニュアルに基づき運営訓練を実施すると共に、防災ボランティア養成講座にも取り組みます。	35千円
55		拡大福祉講演会（共同募金）	事務局の福祉講演会とボランティア連絡会啓発講演会を合同で開催します。	560千円
56		地域福祉推進計画の策定（令和3～4年度）（福祉会費）	令和5年度を初年度とする地域福祉推進計画を策定します。	509千円
57		社会福祉法人連絡協議会（福祉会費）	稲美町内に事業所を持つ社会福祉法人による連絡協議会を設立し、地域公益活動について考えます。	—
58		オンラインの活用検討	ZOOMの活用による新たなつながりづくりの検討	—